

報道各位

2012 年 8 月 20 日
図研エルミック株式会社

図研エルミックが MirrorLink™ 対応車載ディスプレイ開発用ミドルウェアをリリース

図研エルミック株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:朝倉尉、以下 図研エルミック)は、MirrorLink 規格のクライアント側を実現するためのミドルウェア「Ze-PRO® Mirror (Client)」を、8 月 20 日から販売します。

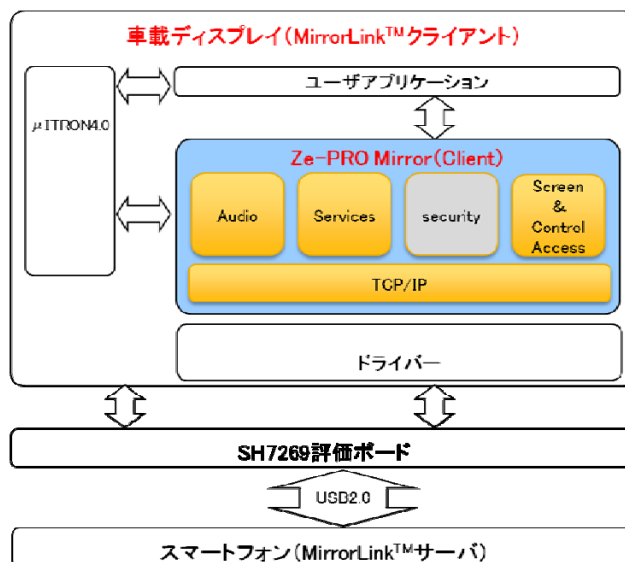
MirrorLink は、規格団体 Car Connectivity Consortium (CCC)が標準化を推進している通信規格で、スマートフォンと車載ディスプレイを双方向でつなぐことを目的としています。

自動車に搭載される車載通信機(カーナビ等)を開発するサプライヤは、Ze-PRO Mirror (Client)により、MirrorLink アプリケーションを短期間で開発できます。

今回販売を開始する「Ze-PRO Mirror (Client)」はルネサス エレクトロニクス社の 32 ビットマイコン「SH7269」に最適化されたソースコードとサンプルアプリケーション、サンプルドライバで構成されており、API 関数経由で MirrorLink に対応した車載ディスプレイを容易に開発できるようにします。

概要

- MirrorLink Ver.1.0.1 クライアントの Mandatory 項目をサポート
MirrorLink Ver.1.1 サポート版への無償バージョン・アップを提供
- 周辺部のサンプル・ソースコード(一部バイナリコード)を提供
- BSD ソケット・インタフェース対応
図研エルミック(株) 社製「KASAGO® IPv4」を実装
- MirrorLink Ver.1.0.1 クライアントのサンプル・アプリケーションを提供
- TCP/IP をベースとするネットワーク・サービスのサポート
各種ネットワークプロトコルを内蔵



特長

1 継続的な機能拡張

今回リリースする「Ze-PRO Mirror (Client)」は、MirrorLink の Ver1.0.1 に対応しています。図研エルミックでは、11 月に Ver 1.1 対応版をリリース予定で、1.0.1 版を購入したユーザーは無償で 1.1 対応版が提供されます。その後も、CCC による MirrorLink のバージョンアップに迅速に追従していく他、MirrorLink 規格の中の必須規格部以外の周辺部も積極的にライブラリ化し、機能を拡張していきます。さらに CPU や OS への非依存化による使い勝手の良さの向上を目指しています。

2 車載機器に必要な安全性を追求

Ver 1.1 からは動的／静的解析を実施し、品質を確保します。

3 100%日本国内で開発

サポートやカスタマイズも安心です。

以上

MirrorLink について

MirrorLink は、スマートフォンと車載ディスプレイをシームレスにつなぐ規格として CCC が仕様策定を進めています。CCC には、ルネサス、図研エルミックを含め、多くの国内外の自動車関連企業や情報機器関連企業が参加しています。MirrorLink に対応したスマートフォンに搭載された楽曲やナビゲーションなど様々なアプリケーションを車載ディスプレイで操作し、表示することが可能です。

図研エルミックについて

図研エルミックは、東京証券取引所マザーズ市場に上場し、資本金は 12 億 2 百万円です。

組込みシステムに必要なネットワーク・画像・通信関係の先端技術を、ミドルウェアライブラリやモジュールなど、お客様が使いやすい素材に変えて提供します。TCP/IP と OS 技術の企業としてスタートしましたが、近年では ONVIF や MirrorLink といった新しいネットワーク規格に積極的に取り組んでいます。

<本リリースに関するお問い合わせ先>

・図研エルミック株式会社

販売促進課

担当 川合

TEL: 045-624-8002 FAX: 045-476-1102

E-mail: press@elwsc.co.jp

URL : <http://www.elwsc.co.jp/>

・本文中の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。